

問題意識と、考え方 北野

1. 動学の基準；順調な拡大再生産経路。その条件；

①需給一致；価格、在庫、稼働率の調整

②稼働率=1；望ましい蓄積率 g

③失業率= $u_0 > 0$ → 貨幣賃金率 w 企業と労働；努力、熟練、協調、雇用期間、決定権

注；一般均衡論；静学（需給一致）、信用なし

2. 投資の独立性。信用創造(長期) → g → w/p 、利潤率

予想利潤率 e → 蓄積率 g → 実現利潤率 r → 次期の予想利潤率 e_{t+1}

3. 下方から上への反転； e 下落 → g 下落 → r 下落

* vintage-model；毎年の改善 1% と、突発的な革新 20%

population-approach；代表的資本でなく、優位層と劣等層からなる、生き残り投資

* 新技術の開発投資；成功確率 10%、生産性上昇 20% → 開発投資の e は低い

* 開発か、模倣か？ 模倣の予想利潤率 $p_e < p_N e$ N ; 開発投資をする企業数

* 融資集中；好況期；既存でやれる、銀行も融資する

；不況期；既存へ融資せず、革新が起これるとそこへ融資集中 α

$$dN/dt = \beta (\alpha p_e - p_N e)$$

4. 融資モデル；

* 資産価値 → 価格一定(マークアップ率一定) → V

① 危険逡増原理

② 費用逡増

5. 銀行の相対取引のモデル；中小金融の信用割り当て論、激発恐慌

6. 行為；個別と共同。市場の負の改革、非市場における共同での協調；

7. 農業、環境